

黒河(くろこ)の会便り 第 33 号

祝 世界遺産登録

◆ 「黒河道」が世界遺産に

平成 28 年 7 月 15 日、トルコ軍の一部が反乱を起こし、イスタンブールで開催中の第 40 回ユネスコ国連教育科学文化機構会議が一時中断されました。その後の動向に私たちも注目しておりましたが、遂に 10 月 24 日、パリで再開された会議で**黒河道**が**世界遺産に登録認定**され、橋本市で初めての世界遺産となりました。

この「**黒河道**」は賢堂の定福寺を起点とし、ドバイ坂、五軒畑の岩崖の観音、鉢伏弘法井戸を経て、清水地区の明神ヶ田和から わらん谷へと続き、九度山町の丹生川を渡り、市平、久保小学校から高野町の粉撞峠、高野山に至る約 20 キロの古道です。平成 16 年 7 月すでに世界遺産に登録認定されている「紀伊山地の霊場と参詣道」の追加登録として認定されました。紀北地区では九度山の町石道に加え、黒河道、三谷坂、不動坂、女人道が「高野参詣道」として拡大登録されたという事です。これにより、伊都地区の橋本市、かつらぎ町、高野町、九度山町、すべてが世界遺産を持つこととなりました。高野山をとりまく文化が再認識されたことにより 今後ますます紀北地区の発展に寄与することを期待します。

◆ 記念行事

10 月 24 日 15 時頃から、伊都振興局のロビーに、高野七口会や黒河の会の有志 20 数名が集まり、パリで行われているユネスコ審議会の結果発表を待ちました。18 時 50 分、伊都振興局 藤森局長が嬉しい電話を受け、集まった者たちは飛び上がり、万歳三唱を唱えて喜び合いました。



【電話を受ける伊都振興局長】



【橋本市役所での久寿玉割り】



【市役所前のぼり旗】

10 月 25 日 8 時から橋本市役所玄関で祝賀式典が行われました。平木市長は「**黒河道**は橋本市初の世界遺産であり、その維持、管理、補修などして後世に伝える責任は市にある」、また、「賢堂区、高野七口再生保存会、などと共に頑張りたい」旨の挨拶がありました。

続いて、市議会議長 中本氏、県議会議員 中西氏、振興局長 藤森氏、他次々に祝辞があり、最後に賢堂石井区長から「先人の遺してくれた世界遺産・黒河道であり、この道を歩かれる方に“来てよかった”という印象を感じてほしい」との挨拶がありました。

その後、「祝 世界遺産・高野参詣道～黒河道」の懸垂幕や幟旗がなびく玄関にて平木市長や来賓による久寿玉割がおこなわれ、参加者全員の万歳三唱で祝典を終えました。

◆幟旗の風景

世界遺産登録が決まった翌日より、これまで真田丸の赤い幟がはためていた橋本駅前や国道371バイパス御幸辻付近のオムレツ幡に代わり「世界遺産・黒河道の旗」が秋風になびいています。定福寺付近にも「祝・世界遺産」の横断幕や幟が立てられました。普段は淋しい紀伊清水駅も駐輪場に飾られた秋祭りの提灯と共に、幟旗で賑やかになっています。



◆世界遺産登録記念行事

橋本市では県との共同のイベントを計画しています。

11月5日(土) 黒河道トレッキングを行います。

- 1、やどり温泉コース
- 2、高野山根本大塔コース
- 3、高野山雑事登りコース

何れも好評で満員締切りとなりました。

世界遺産に登録されたことで今後、たくさんの観光イベント、登山計画などが予想されます。

区長の祝辞にあったように“来てよかった”と思って頂ける様に、県・市の協力を得ながら地元地区の整備などを急ぎたいものです。